

鹿児島大学病院

研修医 有村 尚也 2015年11月

鹿児島大学病院 2年目研修医の有村です。

ここ出水には6年生の時に実習で来させて頂きました。1週間という短い時間でしたがとても充実した実習ができ、初期研修でリピートすれば新しい発見があるのではと思い2年ぶりに戻ってきました。用意して頂いた医師住宅は設備が充実しており、すんなりと初日の研修に入ることができました。1か月のうち前半の2週間は診療所での研修でした。1週目の野田診療所ではエコー検査や上部消化管内視鏡検査を経験しました。同診療所では午後から往診に向かいました。私が往診に向かった先ではその日特別体調を崩されている方はいらっしゃいませんでしたが、「病気になって病院に来た人を診る」だけでなく「病院に来ることができない人が健康であることを診に行く」という医療も人々の健康を守っていることを感じました。

2週目は高尾野診療所での研修でした。外来を担当したのですが、これまで救急外来以外は病棟での研修ばかりで、これだけしっかりと一般外来をしたのはほぼ初めてで最初は戸惑いました。カルテばかり見つめるのではなくてまずは患者さんしっかりと話をすることを心がけることで、楽しさが生まれ心の余裕が出て少しずつ上手く診療できるようになりました。同診療所ではある日、牛に蹴られた男性が運ばれてきました。外科的治療の必要性を考慮してすぐに本院に搬送しましたが、診療所では出来ることと出来ないことがあるという現実を目の当たりにし、同時に農業・漁業・畜産が盛んな地域ならではの外傷に遭遇するという貴重な経験にもなりました。

3週目以降は本院に戻って消化器内科で研修しました。外来初診や腹部エコー検査、上下部内視鏡検査を中心に研修しました。腹部エコーは各臓器を一通り描出できるようになったかと思います。あと疾患別では妙に急性胆管炎を経験することが多く、おかげで休日の救急外来でもまたも急性胆管炎に遭遇した時には速やかな対応ができました。これは自信になりました。

研修ではその他、上場診療所では血圧計と聴診器しかなく本物のへき地医療を経験し、出水市保健センターでは3歳児健診にも参加しました。このように様々な施設、様々な領域で出水の医療を体験することができ、1か月という短い時間で大変濃密な研修が出来たと思います。研修以外でも充実した時間が過ごせました。仕事終わりには飲み屋街にくりだして近辺の開業医の先生方も交えての飲み会に参加し、最後の日曜日には市民駅伝にも参加しました。仕事終わりや休日も充実した1か月となりました。久々の出水での生活はとにかく楽しかったです。先生方も皆やさしく熱心に指導していただき、出水のまち全体の雰囲気も好きになってとても居心地が良いと感じました。ご縁があればまた出水に来たいです。1か月間大変お世話になりました。